



火災から漁船を守れ！

平成30年11月、岩手県宮古港において係留中の漁船で火災が発生しました。乗組員に怪我はなかったものの、漁船は廃船となりました。火元は配電盤付近の電線から発火したものと見られます。



火災予防のチェックポイント

◎電線類等の過熱

「大量の電力消費」による電線の発熱、または「電線の短絡」「半断線・端子の緩みによる漏電」などで端子が金属接触してスパークすることにより、ホコリなどの可燃物が発火する恐れがあります。

電線の整理、老朽化していないかの点検、こまめな清掃を心がけましょう。



乱雑な配線状況



電装機器の腐食

◎燃料高压管等の破損・排気ガス漏れ

燃料高压管等に破損が生じると、燃料油が噴出、高温の排気ガスや可燃物に接触することで発火する恐れがあります。

高压管のニップルや排気管のフランジ部のボルト・ナットの緩みの点検、適正なトルクでの締付け、振れ止め対策などを確実に実施しましょう。



高压管のニップルの緩み



排気ガス漏れによるコゲ跡

※写真提供『(一社)日本船用機関整備協会』

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609



漁船かわら版

検索

平成30年11月に発生した事件事例

宮城県気仙沼湾で漁船の乗揚げ事故が
連続して発生しています!

自船の位置確認、港湾情報の収集に努め
気を緩めず航行しましょう

実際に発生した乗揚げ事件事例

- (1) 気仙沼漁港へ入港途中のさんま漁船が、大島瀬戸にある番所根灯標付近の浅瀬に乗揚げました。
- (2) 気仙沼漁港へ入港途中のまき網漁船が、大島瀬戸に設置しているかき養殖施設に乗揚げました。

残りわずか!!

漁船セーフティラリーみちのく2018

【期間】平成30年12月31日まで

事故をおこさないためには **常時適切な見張りの徹底を!!**

- 双眼鏡、レーダーなどを活用した見張りをしていますか?
- 入港地などの海域の情報収集は十分にできていますか?
- 他の船舶、障害物、浅瀬が近くにありませんか?
- 今、自船がどこにいるのか把握していますか?



～ 海のもしものは**118**番 ～

海の事件・事故は、海上保安庁緊急通報番号118番へ通報ください

H30 東北地方 漁船事故発生状況 (11月末現在)

| 青森県 | 岩手県 | 宮城県 | 秋田県 | 山形県 | 福島県 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 8隻 | 6隻 | 11隻 | 3隻 | 4隻 | 4隻 |

死者数：1人